



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

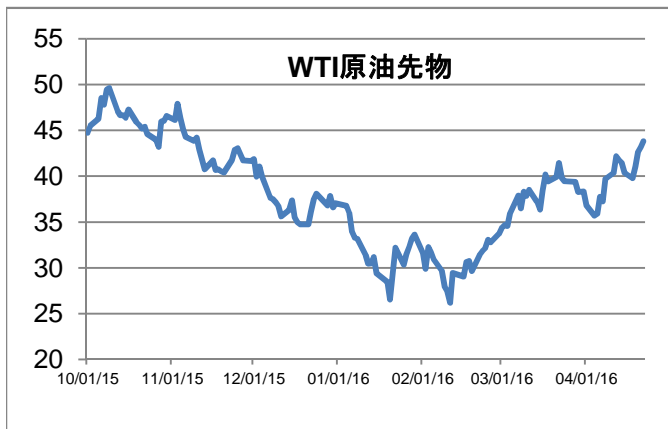
			4月15日	4月18日	4月19日	4月20日	4月22日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,5320	3,6150	3,5320	3,5290	3,5660	+0,0370
	BRL/JPY	Spot	30,80	30,10	30,92	31,12	31,34	+0,22
	EUR/USD	Spot	1,1284	1,1312	1,1359	1,1298	1,1227	-0,0071
	USD/JPY	Spot	108,76	108,82	109,23	109,84	111,78	+1,94
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13,82	13,71	13,70	13,68	13,79	+0,1063
	Future	1Year(p.a.)	13,39	13,24	13,22	13,16	13,20	+0,0391
	On-shore	6MTH(p.a.)	2,234	2,133	2,279	2,385	2,511	+0,126
	USD	1Year(p.a.)	2,657	2,639	2,712	2,660	2,691	+0,031
株式	Bovespa指数		53.227,74	52.894,08	53.256,24	53.630,93	52.907,88	-723,05
CDS	CDS Brazil 5y		343,72	342,07	338,36	336,07	359,76	+23,69
商品	CRB指数		173,636	174,112	177,283	181,436	179,654	-1,783

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週はルセフ大統領弾劾手続きが下院で可決されたことを受けてレアルは寄り付き後、週間高値となる3.4790まで急伸した。しかし伯中銀によるドル買い介入が週初めに見られると、レアルは反落、翌19日には週間安値となる3.6170を付けた。週中には伯中銀によるドル買い介入が発表されず、レアルは3.52台半ばまでじりじりと反発。祝日を挟んだ22日には前日の海外のリスクオフモードによる修正と思しきドル買いが見られたほか、伯中銀によるドル買い介入が発表されたことでレアルは一時3.59台後半まで売られ、結局、3.5660で越週した。
- 今週発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が-3.77%から-3.80%に、2017年予想は+0.30%から+0.20%に下方修正された。また、2016年のインフレ率予想も7.14%から7.08%に下方修正された。2016年末の予想為替レートは4.00から3.80へレアル高方向に修正された。
- 政治面では上院で大統領弾劾委員会のメンバーが4月26日に決定すると予想されている。委員会設立後、10日以内に弾劾手続きの継続可否が委員会内で決議され、その後2日以内に上院全体で弾劾採決が行われる。50%以上が賛成した場合にはルセフ大統領は最終投票が終わるまで一時的に職務停止となり、テメル副大統領が暫定大統領に就任する。下院での大統領弾劾が可決された後の市場はテメル伯副大統領による政権がどのようなものになるかに注目が集まった。特にPSDB内では新政権で官職を持つべきかどうか議論されており、PSDBは今後の方針を決めるため、5月3日に党会議を開く予定である。
- ボベスパ指数も今週はコモディティ価格の上昇や政治的要因を受けて大きく上昇し、昨年6月末以来となる高水準まで上昇した。

3. 今週のチャート&ハイライト



原油先物は上昇、5ヶ月振りの高値

米エネルギー情報局(EIA)の週間統計で米国の原油生産減少が明らかになったほか、イラクのニマ副石油相は5月にロシアで生産量据え置きを目指した産油国会合が開かれるだろうと述べた。米国のガソリン消費が底堅い一方で、米国の原油生産が2014年10月以来の低水準となったことから原油先物市場は値上がりし、3週間連続で上昇する展開となった(2月の底値から60%以上の反発)。



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

4. 来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.50－3.70

来週は国内外で重要経済指標の発表を多く控えている。国外では米GDP成長率やFOMC会合、国内では伯金融政策委員会（COPOM）の開催が予定されている。COPOMでは政策金利が14.25%に据え置かれると市場の大半は予想している。そのほか、引き続き政治に注目が集まる。上院での大統領弾劾委員会のメンバーは早くも25日に決定される見込であるが、上院議席数首位のPMDBと2位のPSDBを併せると委員会の弾劾賛成票は70%に達するとの見方もある。弾劾継続の可能性が高まる中、既に市場の注目はテメル暫定内閣における任官に集まっている。PSDBは、新内閣において大臣職を担う程まで踏み込むべきか否か方針を固めておらず、来週以降のテメル氏の交渉が鍵となろう。政治材料がレアル相場の動向を左右する中、来週は特段の新たな報道がない限りは上院での採決まで様子見ムードが続くものと見る。加えて中銀のドル買い介入に対する警戒心も根強く、レアルの取引レンジは限定的となろう。

5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	経済活動(前月比)	-0.50%	-0.29%	-0.68%
ブラジル	経済活動(前年比)	-4.97%	-4.54%	-7.71%
ブラジル	登録雇用創出合計	-95.000	-118.776	-104.582
米	マークイット米国製造業PMI	52.0	50.8	51.5

6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	4/25	貿易収支(週次)	Apr 24	--	\$925m
ブラジル	4/26	FGV建設コスト(前月比)	Apr	0.41%	0.79%
ブラジル	4/26	FGV消費者信頼感	Apr	--	67.1
ブラジル	4/27	FIPE CPI-週次	Apr 22	0.62%	0.75%
ブラジル	4/27	SELICレート	Apr 27	14.25%	14.25%
ブラジル	4/28	FGVインフIGPM(前月比)	Apr	0.36%	0.51%
ブラジル	4/28	FGVインフIGPM(前年比)	Apr	10.66%	11.56%
ブラジル	4/28	ローン残高(前月比)	Mar	--	-0.5%
ブラジル	4/28	融資残高	Mar	--	3184b
ブラジル	4/28	個人ローン・デフォルト率	Mar	--	6.2%
ブラジル	4/28	中央政府財政収支	Mar	-10.1b	-25.1b
ブラジル	4/29	全国失業率	Mar	10.5%	10.2%
ブラジル	4/29	基礎的財政収支	Mar	-12.1b	-23.0b
ブラジル	4/29	Nominal Budget Balance	Mar	--	-52.8b
ブラジル	4/29	純債務対GDP比	Mar	37.0%	36.8%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。